

# スクール School ウオッチ

市内小学校を巡り、いけだっ子の“今”をレポート!

VOL.10  
石橋小学校編  
(最終回)



## スポーツ大会を通して学ぶ 勝ち負けより大切なこと

石橋小学校の子どもたちが楽しみにしている1学期の恒例行事は、「相撲大会横綱場所」と「ドッジボール大会」。スポーツ大会を通してどんなことを学んでいるのかをウォッチしてきました。

### ドッジボール大会



優勝の瞬間、1年生が駆け寄ってきてくれて...涙が溢れました!

吉澤 瑞稀さん (6年)



### 相撲大会横綱場所

土俵で緊張したけれど、みんなの声援で1ラックメできました!

箱崎 花音さん(6年)

### 応援も一生懸命

昭和57(1982)年に完成した中庭にある土俵。1学期に入ると石橋小学校の子どもたちは、その土俵で押す・引くなどの動作や礼儀作法など相撲の基本を学びます。「横綱場所」は、授業で選ばれたクラスの代表力士が熱戦を繰り広げる相撲大会です。一方、ドッジボール大会は1年、2年、中・高学年に分かれたクラス対抗戦で、中・高学年は『王様・姫ドッジ』というルールで行います。どちらの大会も、どうしたら勝てるかと対戦相手を研究したり、作戦を練ったりと、子どもたちは真剣そのもの。また、代表選手や友だちのために自分たちで応援グッズを作るなど、応援も一生懸命です。担当の先生は「大会を通して勝ち負けよりも大切なことをつかみ取ってほしい。応援に感謝したり、負けた相手を思いやったり、みんなで頑張ることのすばらしさを感じたりと、実際にその成長を感じることがたくさんあります」とおっしゃいます。

### 今月の小学校 石橋小学校

昭和28(1953)年に北豊島小学校区から分離して開校し、現在は578人の児童が在籍しています。今回ご紹介したスポーツ大会のほか盛りだくさんの

行事があり、臨海学舎も行っています。オリンピック競泳メダリストの中西悠子さんも卒業生で、昨年は水泳教室で指導に来てくれました。



▲臨海学舎の様子

【問い合わせ先】 学校教育推進課 ☎754・6293